

沿道掘削の手続きについて

ビル建築等のために沿道を掘削する必要があるときは、あらかじめ関係書類を本区へ提出して協議してください。

【提出書類の作成にあたって】

- 申請から承認まで約2～3週間かかりますので、早めに提出してください。
- 杭（基礎工・山留杭等）打ち工事は、掘削工事に含まれますので、必ず回答後に施工してください。
- 下記の書類の順に、A4ファイルで左綴じに製本してください。
- 書類の資料が一目でわかるように、見出しをつけてください。
- 正・副はすべて同じ内容としますので、副にも印を押してください。
- 道路境界に係わるトラブルを防ぐため、建築確認申請前に道路境界を道路台帳で確認してください（問合せ：環境まちづくり総務課 財産管理係）

【提出書類の作成要領】

1 沿道掘削施工協議書

- 「目的及び理由」は「〇〇ビル新築の基礎工事」等具体的に記入してください。
- 「出願場所」は地名地番ではなく、住居表示を記入してください。
- 掘削期間は、杭打ちから埋め戻し完了日までです。
- 「延長」には掘削を行う敷地における沿道の延長を記入してください。
- 「境界より」には山留構造物の外側までの最短距離を記入してください。

2 委任状（別紙1参照）

- 申請者が施工会社（代表者）の場合、建築主から施工会社（代表者）に対する委任です。

3 誓約書（別紙2参照）

- 提出者は施工会社代表者とします。

4 案内図・配置図

- なるべく一枚とし配置図には前面道路幅員（現況幅員と認定幅員）、道路境界線（朱線にて）、敷地及び建物1階平面図を記入してください。

5 建築工事概要書

- 別紙3に準じて作成してください。

6 掘削工事仕様書

- 別紙4に準じて作成してください。
- 排水方法等具体的に記載してください。

7 建物一般設計図

- 平面図（地階及び一階）、断面・立体図（各方位）として、図面上に道路境界より外壁までの距離を記入してください。

8 山留計算書

- 計算書を作成した建築士の登録番号、氏名を記入してください。
（掘削深さが1.5m以下の場合は提出不要です。）

9 山留構造図

- 平面図・断面図とし、朱線にて道路境界点を明示して、山留構造物の外側から道路境界点までの最短距離を明示してください。
- 山留杭の離隔（はなれ）は50mm以上（以下は引き抜く）とする。

10 道路現況図

- 道路付属物（植樹・電柱・街路灯・柵・マンホール・パーキングメーター・歩道切り下げ部等）を図示してください。

11 引照点図（別紙5参照）

- 道路境界上の各ポイントに対して3点以上の引照点を設定し、番号をつけてください。引照点は、不動性の高い建物の角や境界杭とし、道路上（L型等）や占用物件（マンホール等）は不可とします。

12 路面高低測量図

- 不動性の高い1点を基準点（B.M点）とし、道路境界線（申請地側及び向い側）、歩車道境界線、道路中心点上を2m以下の間隔で、できるだけ細かく測量点を取り、番号をつけてください。基準点は建物の角など、不動性の高いポイントとし、道路上や占用物件は不可とします。

13 埋設管調査図

- 埋設管の占有者名（企業名）、関係、当該道路境界線からの離れ、深さも記入してください。

14 道路現況写真

- 施工場所が区道に接する一側面に対して、3方（左右・正面）以上から道路の現況がわかるように撮影したカラー写真。
- 道路境界上のポイント及び引照点並びに高低測量の基準点（B.M点）を撮影したカラー写真。

15 工事工程表

- 全工程がわかるもの。掘削期間は申請書のものと同じさせてください。

16 建築確認通知書写

- 原則として、建築確認通知書のコピーをつけてください。申請中の場合は申請書の写しをつけてください。

連絡先：千代田区役所 電話 03-3264-2111（代表）

【回答前】環境まちづくり部 環境まちづくり総務課 占用係（内2716～8）

【回答後】環境まちづくり部 道路公園課 維持係（内2745～7）

沿道掘削施工協議書

年 月 日

千代田区長
樋口 高頭 殿

協議者
住 所
氏 名 (代表者) 印

現場担当者
連絡先 (会社)
(現場)

下記のとおり、沿道掘削いたしたく関係図書添付の上、協議します。

記

1 工 事 件 名

2 目的及び理由

3 施 工 場 所 千代田区 丁目 番 (地) 号

4 掘 削 期 間 年 月 日から
年 月 日まで

5 工 事 期 間 年 月 日から
年 月 日まで

6 掘 削 範 囲 延長 m・敷地面積 m²
深度 m・境界より m

7 提 出 部 数 正 1 部・副 1 部

8 添 付 書 類 ①委任状 ②誓約書 ③案内図・配置図 ④建築工事概要書
⑤掘削工事仕様書 ⑥建物一般設計図 ⑦山留計算書 ⑧山留構造図
⑨道路現況図及び引照点図 ⑩路面高低測量図 ⑪埋設管調査図 ⑫道
路現況写真 ⑬工事工程表 ⑭建築確認通知書写

(別紙1)

委 任 状

私は、(会社名 代表者名) を代理人と
定め、下記の権限を委任します。

記

(ビル名) 工事に
伴う沿道掘削に関する一切の件。

年 月 日

建築主 住 所

会社名

代表者

印

(別紙2)

誓 約 書

年 月 日

千代田区長 殿

施工者 住 所
会社名
代表者

印

今般、下記工事施工に伴う沿道掘削に当たりましては、貴区の指示事項及び関係諸規定を遵守し、危険防止はもちろん、道路管理上も支障のないようにいたします。

なお、万一工事のために生じた道路その他の公共物、または埋設物の破壊等一切の損傷につきましては、貴区の指示に従い復旧に要する費用を負担いたします。

記

1 工 事 名

2 施工場所 千代田区 丁目 番(地) 号

(別紙3)

建築工事概要書

- 1 工事名
- 2 工事場所
- 3 敷地面積
- 4 建築面積
- 5 延床面積
- 6 構造
- 7 階数 地下 地上
- 8 地階床深さ
- 9 建物最高の高さ
- 10 用途
- 11 建築主住所氏名
- 12 設計者住所氏名
- 13 施工者住所氏名
- 14 建築確認月日及び番号

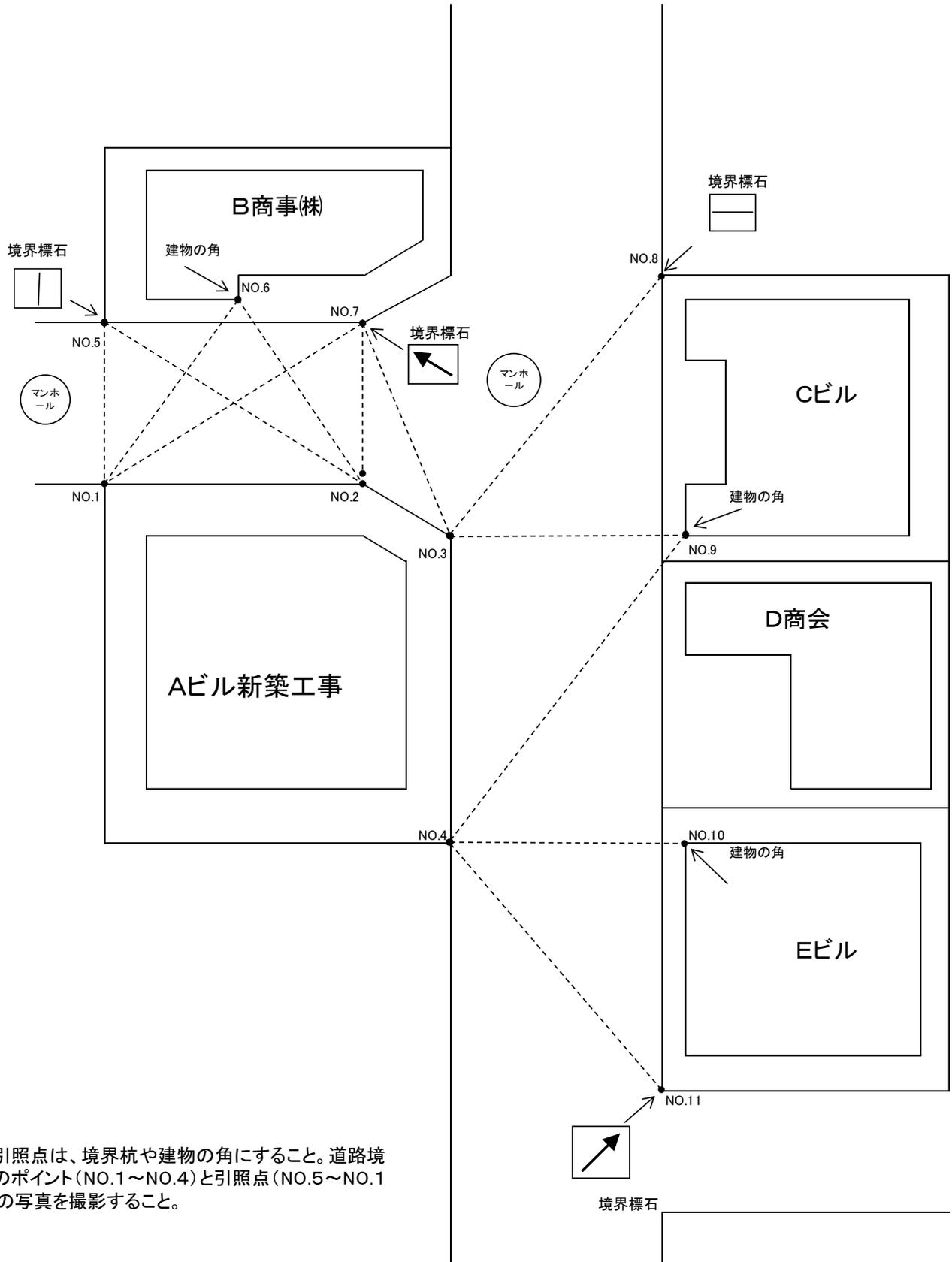
(別紙4)

掘削工事仕様書

- 1 山留各種鋼打
種類
全長 (m)
根入 (m)
- 2 掘削深さ
- 3 横矢板 厚さ (cm)
- 4 掘削方法
- 5 埋め戻し方法
- 6 排水方法 (排水設備及び排水先)

(注) 上記事項について、施工方法を具体的文書により
詳記すること。なお、雨水枴を排水先としないこと。

道路現況図及び引照点図(参考)



※引照点は、境界杭や建物の角にすること。道路境界のポイント(NO.1~NO.4)と引照点(NO.5~NO.11)の写真を撮影すること。